



◆1月新着図書◆

新年あけましておめでとうございます。

年末年始、それぞれ いかがお過ごしでしたか？

本年も図書館で、すてきな本との出会いがあることをお祈り申し上げます。



『錯視の魔術』

ジャンニ・A・サルコーネ、メアリー＝ジョー・ウェバー／株式会社 教育画劇／145.5 Sar



「うわ、なにこれすごい！」と思うような、不思議な絵をみたことがありますか。不思議というのはたとえば、絵が動いて見えるとか人によって違う色が見えるとか。そんな錯視の謎を解説してくれるのがこの一冊です。あなたの目は、どんな魔術に惑わされているのでしょうか。



『藤井恵さんの体にいい和食ごはん』

藤井恵／株式会社学研プラス／596.2 Fuj

レポート・テストの時期ですね…。忙しさのあまり、簡単に食べられるジャンクフードやパンなどで食事を済ませてしまう人も多いのではないのでしょうか。胃にやさしく、体への負担が少なくて美味しい。それが和食の特徴です。そんな数々の和食のレシピが掲載されたこの本を見てみてください。やさしい食事は、体だけでなく心にもいいのですよ。



『新だしの本 毎日のだしから、めんつゆ、濃縮だしまで』

千葉道子／農山漁村文化協会／596 Chi



だしについての基本的なことから、だしを活かしたおいしいレシピまで、だしについての内容がたくさん詰まった一冊になっています。だし、というと少し難しそうに感じますが、この本を読めばきっとチャレンジしてみたくなるはずです！だしを使いこなして、うまみがアップしたおいしい料理を作ってみませんか？



『季節の食べ物クイズ絵本 12ヶ月』

絵/角慎作・文/月刊「学校給食」編集部／全国学校給食協会／596 Kis

季節の食べ物をクイズを通して学べる絵本になっています。今まで知らなかった知識がたくさんで、これまで以上に「食」が楽しくなります！レンコンになぜ穴があるのかはご存じですか？答えは、ぜひ本を読んでみてください！

『認知症フレンドリー社会』

徳田雄人／岩波新書／080 Iwa 1749



あなたにとって「認知症」はどれほど身近ですか？認知症の人が暮らしやすい社会づくりを、医療やケアだけでなく、まちづくりなどの視点から捉える一冊です。英国や日本の先駆的な地域の取り組みが紹介され、認知症に限らず、誰にとってもやさしい社会を考えるきっかけになると思います。

『乾物と保存食材事典』

星名桂治／誠文堂新光社／619 Kan



太陽からの恵みを受けた日本の食材「乾物」。あなたは、どんなものがあるか知っていますか？乾物は伝統的でありながら、進化も続ける優れたものです。写真付きで、料理方法もわかりやすく記載されています。この機会に日本の魅力を再発見してみましょう。

2019年1月 山梨県立大学飯田図書館 2018年度ライブラリースタッフ

